

## BD（バットディテクター）製作キット・取扱説明書

このたびはバットディテクター製作キット（BD-5 シリーズ \*）をお買い上げ頂きましてまことにありがとうございました。

\*：ケースやデザイン他の違いでBD-5の次に B、(K)、Jr がつく場合があります。

■ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上お使いください。

取扱説明書は必要な時にお読みいただけるように保管をお願いします。

### バットディテクターの取扱

★印は守らないと機器の破損や、ケガをする恐れがある重要な注意事項です。

◎補足説明や性能の維持に必要な注意事項です。

#### 【電池の取り付け】

電池カバーをケースの「OPEN」矢印の方向にスライドして開けます。

電池の端子と電池ファスナーの向きを合せ間違わないように接続します。

★極性を違って接続したり、接触させると過電流が流れて過熱したり破損して危険です。

電池カバーを閉じます。

◎長期間使用しない時は電池の液漏れによる故障を防止するため電池を外して保管してください。

◎バットディテクターに付属の電池は動作確認用に添付されているもので、使用時間が短い場合があります。

◎新しく電池を交換される場合は006P型アルカリ電池(9V)の使用をおすすめします。

◎マンガン電池の場合は使用時間が短くなります。

#### 【電源】

電源スイッチはありません、イヤホンをジャックに差し込むと電源が入ります。

★イヤホンの脱着時にクリックノイズが出ます、耳を痛める恐れがあるので、イヤホンの脱着時はイヤホンを耳から外してください。

#### 【音量調整】

音量調整ツマミを調整して適度な音量でご使用ください。

右方向に回すと音量が大きくなります。

右方向に回すと音量に回すと音量が小さくなります。

反対になる時は配線が違っているので変更してください。

★音量を上げすぎると聴力を損なうことがあります。

★適度な音量でご使用ください。万一異常を感じた場合は医師の診察をお受けください。

イヤホンは付属のもの又は同等品（セラミック型）をご使用ください。

★イヤホンとマイクを地被けて音量を上げて使用するとアコースティックフィードバック（\*1）によって起きるノイズ又は発振音（ピー音）が起こりやすくなります。

そのような時はイヤホンとマイクを離してご使用ください。

注（\*1）イヤホンから出た音が空間経由でマイクに入り増幅を繰り返す音響効果による大きなノイズの発生または発振音。

### 【チューニング】

チューニングダイヤルを回してダイヤルのマーカーをディテクトしたい周波数に合わせます。

◎ディテクト範囲はおおよそチューニング周波数の上下3kHz～4kHzになります。

◎超音波音源の特性によって実際の周波数の2倍とか3倍の周波数でもディテクトする場合があります。

そのような場合は一番強くディテクトするところが基本波と思われれます。

◎BD-5の主要部分は電源安定化回路で作動しておりますが電池の電圧が下がった場合は、周波数表示に違いが生じたり動作が安定しないことがあります、早めの電池交換をおすすめします。

### 【BD-5について】                      BD：バットディテクター

BD-5は性能をあまり落とさずに廉価なバットディテクターが自作できるように企画しました。

BD-5はヘテロダイン（DC）式のバットディテクターです。

マイクはエレクトレット・マイクロホンを使用おり15kHz～100kHz以上までディテクト可能です（マイクの性能上高い周波数では感度が下がります）。

ディテクト可能距離（感度）はアブラコウモリでおおよそ15m～20mの範囲です。

以下に注意をしてご使用ください。

★強い衝撃を与えない。

★水濡れ、水滴、湿気を与えないようにご使用ください、マイクの故障原因になります、ダイヤル目盛シール等の色落ちやにじみが出ることがあります。

★ほこり、砂、土粒などの異物が入らないようご使用ください。